

がんばろう日本

～亀岡市は災害被災地の復興を支援します～

May 2019
広報No.673

キラリ 亀岡

■亀岡市の人口と世帯数

	平成31年 4月16日現在	平成30年 4月24日現在
人口	88,846人	89,346人
内 男	43,297人	43,526人
女	45,549人	45,820人
世帯数	38,989世帯	38,785世帯

主な内容

- 1ページ 麒麟のまち亀岡
- 2ページ 「森の自然ほいくえん東本梅」がはじまりました! ~自然の中で遊び、学ぶ「亀岡型自然保育」~
- 3ページ 中学校昼食の新たな選択肢 ~デリバリー弁当 全中学校に拡大導入~
- 4ページ 亀岡さくらウィーク

ほか

編集発行:亀岡市市長公室秘書広報課 / 〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地 / ☎0771-22-3131(代) ☎0771-24-5501
 ホームページ <https://www.city.kameoka.kyoto.jp> 電子メール office@city.kameoka.lg.jp フェイスブック <https://www.facebook.com/kameokacity>
 LINE@アドレス line://ti/p/@kameokacity ID @kameokacity インスタグラム <https://www.instagram.com/kameokacity/> ID kameokacity

明智光秀公像、建立

亀山城主としてまちの礎を築いた智将・光秀公を象徴する像が、今春、南郷公園に建立されました。この像は、市内団体が中心となり結成された「明智光秀像建立実行委員会」により設置されたもので、5月3日の亀岡光秀まつりにおいて除幕式が行われました。制作は、市内在住の彫刻家とーじ・まさトシ(田路雅敏)



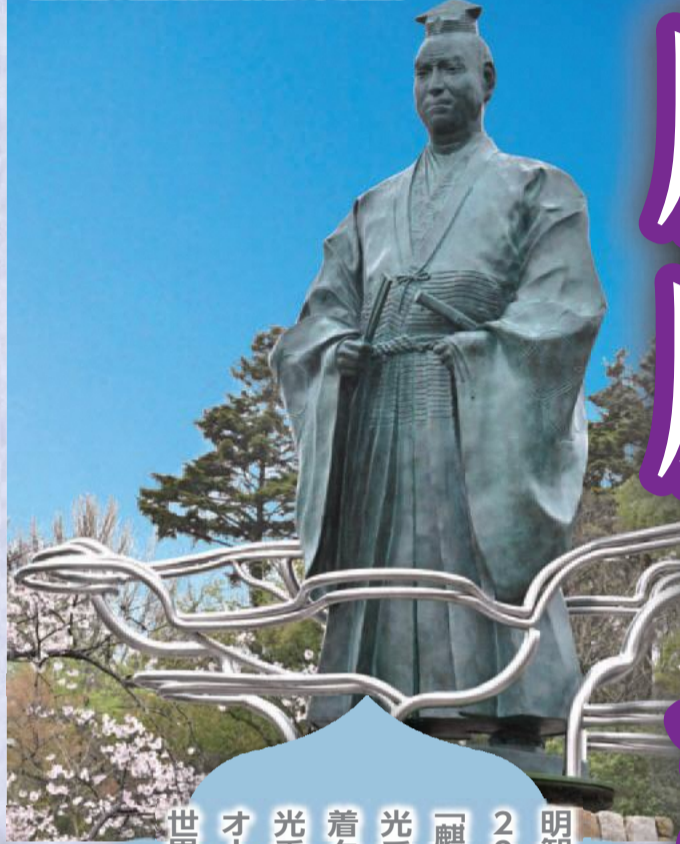
とーじさんと光秀公像の原型

さんの手によるもので、本徳寺所蔵の肖像画を基にデザインされ、足元には本市特有の朝霧が配置されています。とーじさんは「光秀公の人物

像を知るため、専門家に話を聞くなど研究を重ねました。その上で、武人、また知識人として多様な側面のある謎多き武将を表現しました」と話されます。

像の建立にあたっては、ふるさと納税を通じ、市内外から2,800万円を超える寄付をいただきました。光秀公を偲ぶ人たちの想いがつまつたこの像が、亀岡の歴史や文化を発信するシンボルとして、まちの発展を見守ります。

南郷公園の明智光秀公像(平成31年4月撮影)



麒麟のまち

「(仮称)麒麟がくる 京都大河ドラマ館」 スタジアム内にオープン予定

2020年大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機に、「麒麟のまち・亀岡」光秀が理想を描いたまちとして、魅力に満ちた亀岡の自然と歴史・文化を全国に発信するとともに、地域経済の活性化に

つなげるものとして「(仮称)麒麟がくる京都大河ドラマ館」を、府立京都スタジアム内に設置することが予定されています。同館は、ドラマで使用された小道具や衣装などの展示、

ロケメイキング映像の上映など、大河ドラマの世界観を体験できるものとなる予定です。現在、大河ドラマ「麒麟がくる」亀岡市実行委員会が、オープンに向けて準備を進めています。

亀岡

明智光秀公を主人公とした2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送が決定し、1年。光秀公を中心としたまちのにぎわいの創出が着々と進んでいます。光秀公ゆかりの地「麒麟のまち・亀岡」として、オール亀岡で盛り上げ、世界に発信していきましょう!

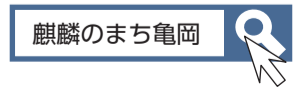
「麒麟のまち亀岡」ホームページ開設



亀岡市では、明智光秀公を中心としたにぎわいのまちづくりに関する情報を発信する「麒麟のまち亀岡」ホームページを開設しました。

同ページでは、光秀公に関する特集やエリア別ゆかりの地マップ情報をはじめ、亀岡のまちづくりの中で光秀公がピックアップされる情報を随時更新します。また、光秀公ゆかりの史跡や名所、イベントなどの写真をハッシュタグ「#光秀のまち亀岡」をつけてTwitter・Instagramで投稿すれば、ページ内のギャラリーで公開される「光秀inみんなの亀岡自慢あれこれ」もスタート。皆さんぜひアクセスしてください!

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/kirin/index.html>



細川ガラシャの子孫、細川珠生さんが 京都・かめおか観光PR大使に就任



細川珠生さん

明智光秀公の娘、細川ガラシャの子孫である細川珠生さん(ジャーナリスト、千葉工業大学理事、星槎大学非常勤講師)は、「細川家では、光秀公は細川ガラシャの父として大きな存在であり、力が支配する戦国時代の中で、高い教養と文化を愛する心を持ち、正義感あふれる人物だったと言いつづけています」と話されています。著書「私の先祖 明智光秀(宝島社)」には、光秀公の武人としての側面だけでなく、よき家庭人であったこと、連歌や茶道に通じた文化人であったことなどが、直系の末裔としての観点から書かれています。

就任いただくことになり、5月2日、ガレリアかめおかで就任式を行いました。細川さんは「亀岡をはじめとするゆかりの地に行くと、光秀公が昔から変わらず、脈々と皆さんに愛され続けているのを感じます。それを見れば、為政者としてのふるまいがどのようなのかがわかります。今回、京都・かめおか観光PR大使に就任するにあたり、光秀公が丹波亀山城主として城下町の礎を築き、領民が幸せな暮らしをすることを望みながら、この地を治めたことが現在にも通じていることを、亀岡の皆さんとともにあらためて考えることができると幸いです」と話されています。



「私の先祖 明智光秀」 細川珠生 著(宝島社 刊)